

進路だより

進路指導部長 杉井和夫

就職状況一覧 (平成14年1月現在)

	求人数	希望者数	内定者数	内定率
県内	82	40	36	90%
県外	250	50	48	96%
計	332	90	84	93%

※進学者数 51名 公務員内定数 5名

東京で舞を舞う

江工会の皆様にはご健勝のことと拝察致します。

今回の原稿は、進路に関わる内容ではなく、本校の石見神楽グループについて述べたいと思います。

昨年、関東支部より総会後の懇親会に神楽出演をして欲しいという依頼がありました。

これは、石見神楽クラブ（現在はグループ）が二十一年間続けた老人ホーム慰問をインターネットで知ったことから、会員・家族・知人達に古里の伝統芸能を平素、生で見る機会が少ないので是非出

演して欲しいとのことでした。

出演承諾にはとまどいでしたが、後輩達の活動に理解頂くこと、常日頃お世話になっている江工会の皆様への御礼を込める意味で出演を決定しました。

学校長を始め、先生方から賛同を得て、来る二月十七日、総会後の懇親会で披露する運びとなった次第です。

来年度からは週休二日制になります。生徒達のこのようなボランティア活動は、今後ますます重要視される



神楽「塵輪」を舞う江工生

と思われまます。

現在は部活動でも、同好会でもない単なる有志の神楽グループが細々とボランティア活動を継続していて、最後に東京で「舞を舞う」という意気込みで頑張っています。

関東支部の皆様、二月十七日にお会いできるのを楽しみにしています。

尚、掲載されている写真は、本年度第二十二回目（一月十七日）の慰問風景です。今回は近くの保育園の児童達も一緒に参加しました。



高砂苑・白寿園での慰問風景 (H14. 1. 17)

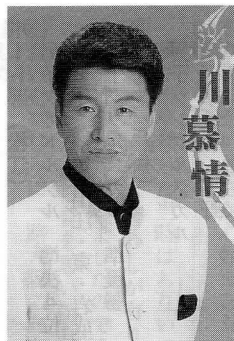


テレビ「演歌百選」出演中

〈桜山慕情〉ハップレコード

歌手 山崎 ていじ

(建築科昭和51年卒)



このコーナーでは各界で活躍されている卒業生を紹介しす。次回はあなたかも……。

♪リクエストのお願い♪

★「山崎ていじの演歌春秋」

〒556・8691 大阪市浪速郵便局私書箱25号ラジオ大阪OBC「山崎ていじの演歌春秋」係 毎週火曜日PM7・00～PM7・15

★ラジオ大阪「歌謡曲これ一番」

〒552・8501 ラジオ大阪 FAX06・6577・0361 ラジオ大阪「歌謡曲これ一番係 月々金曜日PM0・00～3・00

★「歌謡コンサート」

〒150・8001 NHK放送センター「歌謡コンサート」リクエスト係 住所、氏名、電話番号とコメント記入

★第一興商DAM

〒141・0022 東京都品川区東五反田二・五・十 DK第二ビル (株)第一興商 G50リクエスト受付係 コメント記入

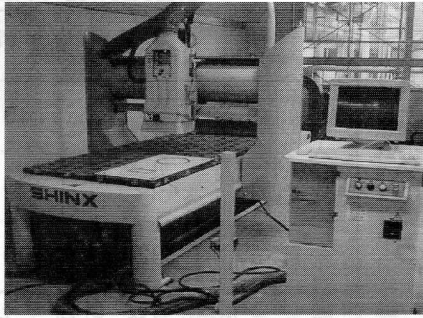
■お問い合わせ先

「山崎ていじ音楽事務所」 〒612・8418 京都市伏見区竹田向代町十・九 TEL075・691・9706 FAX075・645・0308

建築科



バックフォール



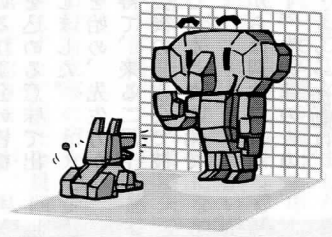
CNCルーター

総合電気科

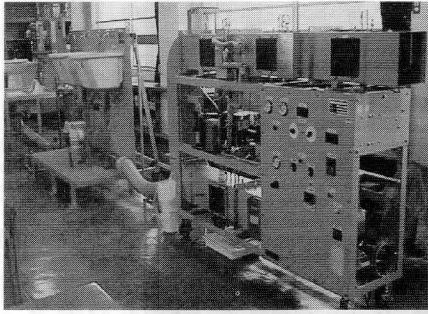
学科改編に伴い、43年間の歴史をもつ電気科と、10年続いた電子情報科が今年度を持って廃科となり、新たに総合電気科として再出発します。

導入予定新設備 (3月末)

- コンピュータシステム更新
- ネットワーク実習システム
- エレベータ実習装置 (実物大)
- ソーラー発電システム
- 高圧受電実習設備



学科改編完成年度導入された新設備紹介



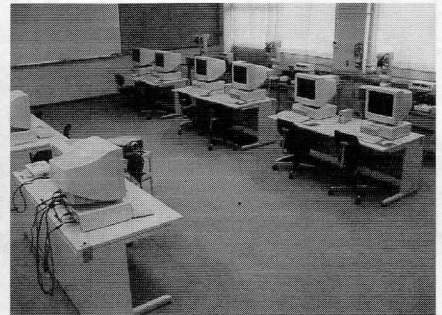
空調実習装置



レーザー加工の作品



レーザー加工機



ロボット実習システム

平成十三年度 部活動の報告

生徒指導部

野球部

春季中国地区予選

二回戦 7-8 川本

全国選手権島根大会

二回戦 4-2 松江高専

三回戦 2-3 大社

秋季中国県予選

一回戦 10-3 松江商業

二回戦 0-4 大東

県高校総体

バレー部

一回戦 2-1 出雲農林

二回戦 0-2 松江西

バスケット部

二回戦 72-39 出雲工業

三回戦 63-78 松江北

ソフトテニス部

団体戦 (優勝)

二回戦 2-1 松江北

三回戦 2-0 松江農林

準決勝 2-0 浜田

決勝 2-0 松江工業

個人戦

ベスト24

ベスト32

卓球部

団体 一回戦 0-3 出雲西

個人 ダブルス 3回戦敗退

シングルス 4回戦敗退

陸上部

男子決勝進出ならず

水泳部

男子50m自由形 2位 本藤

男子100m背泳 3位

男子400mR 7位

ボート部

男子クオドルプル 優勝

男子ダブルスカル 優勝

男子シングルスカル 優勝

女子シングルスカル 2位

弓道部

男子団体 40射20中 予選敗退

女子団体 40射7中 予選敗退

男子個人

二回戦進出

8射3中 A3松嶋

8射4中 ES2山根

三回戦進出

12射6中 S3伊藤

12射9中 A2植田

(ベスト19)

サッカー部

二回戦 0-2 益田

ワンダーフォーゲル部

個人クワイミング競技 28位

レスリング部

フリースタイル 予選敗退

58kg級 予選敗退

中国高校選手権

ソフトテニス部 (大社)

団体戦 (ベスト8)

二回戦 2-1 笠岡商

準々決勝 0-2 徳山工

個人戦 一回戦敗退

水泳部

男子50m自由形

本藤 予選敗退

ボート部 (松江)

男子クオドルプル 準決4位

(宇津・森本・出江・東・岩成)

男子ダブルスカル 準優勝

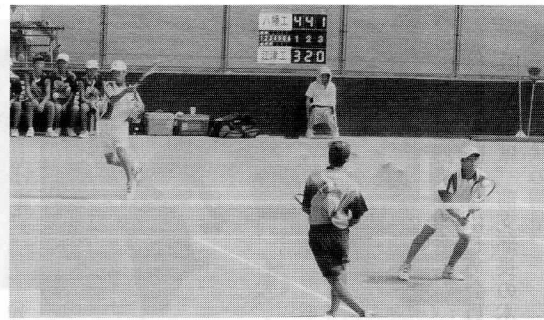
(濱本・吉本)

男子シングルスカル

準優勝 高野

準決3位 井上

女子シングルスカル



インターハイ(熊本)での試合風景(H13.8.4)

(恵木2・川下)
入選 1点 川下
全国高等学校総文化祭 福岡大会
文化連盟賞 山崎
情報電子部

ロボット相撲島根県大会
自立型の部 3位 M1 高橋

高校生ロボット相撲中国大会
自立型の部 3位 M2 白川

自立型の部 3位 ES2 山崎

全校技能グランプリ
ロボット相撲大会
ラジコン型の部優勝 ES2 川野

自立型の部 3位 ES2 川野

自動車部
ホンダエコノパワー全国大会
高校生の部 16位

JRC部
赤い羽根共同募金運動参加
エコフレンドの集い参加

家庭科クラブ
たかさご苑訪問

事務局だより

二〇〇一年(平成十三年)
二月十日 関東支部総会
森山征夫新支部長はじめ会員八十数名の出席で、カラオケ・福引き等で賑わいました。関東支部より橋目支部長、楢垣役員、本部から高橋次郎会長、神田義克校長、佐々木文人事務局員が出席

二月十五日 会報二十五号発行
各支部、地元企業、教職員在校生に配布

二月十八日 山口県支部総会
下松市において、山根清建支部

島根県高等学校写真展
奨励賞 3点

宮城国体
ソフトテニス部
島根 3-0 長野
島根 0-3 群馬

全国高校選抜
男子シングルスカル 準々決勝
男子ダブルスカル 準々決勝
(濱本・吉本)
男子シングルスカル 6位 高野

平成12年 江工会一般会計決算書

【1】収入の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増 △減	摘 要
1. 繰越金	375,408	375,408	0	平成11年度一般会計より
2. 会費・入会金	1,440,000	1,396,938	△43,062	在校生積立金
3. 寄付金	10,000	15,000	5,000	個人1件、団体1件
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	592	223	△369	預金利息
収入合計	1,826,000	1,787,569	△38,431	

【2】支出の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	差 引	摘 要
1. 工事費				
工業教育振興費	20,000	20,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	200,000	0	江工会会報35号 印刷費
記念品費	50,000	37,275	12,725	卒業生へ卒業証書用丸筒
会館運営費助成	150,000	0	150,000	執行せず(13年度執行)
2. 管理費				
通信費	60,000	16,410	43,590	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	0	10,000	
消耗品費	10,000	0	10,000	
旅費	500,000	384,494	115,506	支部訪問、他
会議費	250,000	110,000	140,000	支部総会 出席
慶弔費	50,000	23,880	26,120	祝電、弔電、御祝、香典等
雑費	120,000	95,484	24,516	広告料、謝礼、饞別、他
3. 積立金	200,000	0	200,000	執行せず(13年度執行)
4. 予備費	206,000	0	206,000	
支出合計	1,826,000	887,543	938,457	

収入総額 1,787,569円 - 支出額 887,543円 = 差引残額 900,026円

長はじめ会員四十二名の出席で、本部より高橋次郎会長、金山幸三教頭、岩田泰典事務局員が出席
二月二十四日 弥栄支部総会
岡本均支部長をはじめ会員九名の出席で、シン鍋を囲みながら、高校時代の思い出また近況などを多に語り合い、出席者全員で応援歌・校歌を熱唱し、会は盛会のうちに終了しました。本部より高橋次郎会長、神田義克校長、倉本晃事務局員が出席
三月二日 新卒者江工会入会式
入会者数
十二年度卒業生百四十名
森下建設株式会社代表取締役社

長 森下勝義氏(機械三十九年卒)より「私の人生体験」の演題で講話を頂きました。
学校を卒業してから東京に出て、石の上にも三年との想いで、人に負けたくないとの一心で頑張った苦勞話。実家の都合で帰省し、建設会社の社長として、

社会に対しての厳しい姿勢と想いを熱く語っていただきました。新卒者の皆さんにとって有意義な良い講話でした。大変有り難うございました。
四月二十日 江津市役所支部総会
二年に一度の総会で支部長西川幸三氏(木工三十五年卒)がご勇退され、堀川哲朗氏(機械四十年卒)が新たに支部長に就任されました。盛会のうちに校歌・応援歌の大合唱で終了しました。本部から高橋次郎会長、木下英樹校長、土井事務局長、上手事務局員が出席しました。
五月十六日 江工会館運営委員会
十二年度事業・決算報告、十三



講話中の森下勝義氏

年度事業・予算審議。会館の運営が現況では生徒数の減少で非常に苦しくなってきた。今後の維持管理について早急に検討すること。また、築後十七年を経過しており、傷みも多く出ており、特にエアコン、ボイラーは使用不能な状態で早急に対策が必要である。

五月十六日 江工会理事會・總會

十二年度事業・決算報告、十三年度事業・予算審議の後、役員改選があり、昭和六十三年より第七代会長として十四年間の永きにわたりお世話になりました高橋次郎氏（建築二十二年卒）がご勇退され第八代会長に室安延博氏（建築三十一年卒）が就任されました。

高橋会長には開校六十周年行事をはじめ艇庫建設等多大なご苦勞をお掛けしました。本当に有り難うございました。新たに室安会長の元、母校の発展・江工会の発展のため頑張っていくしますので益々のご支援をお願い申し上げます。



あいさつする室安新会長

六月二日 関西支部總會

橋目福司支部長をはじめ会員七十数名が出席。前支部長の木村健氏に感謝状の贈呈。



感謝状贈呈

前会長の高橋次郎氏、前衆議院議員三沢淳氏、関東支部よりも来賓として出席された。懇親会には会員のご家族も同席され、総勢百二十名余りになり、アトラクションでは故郷より招かれた有福温泉神楽団代表伊藤康則氏（機械五十二年卒）はじめ卒業生五名在団の石見神楽やプロ演歌歌手の山崎ていじさんの熱唱など盛会のうちに終了。本部より室安延博会長、木下英樹校長、佐々木敏博事務局長が出席。

同窓会

八月十七日

工業化学科四十六年卒

同窓会が江津市吾妻会館において開催された。

十月十四日 無二会

機械二十六年卒

浜田市千疊宛にて十四名参加

恩師 黒亀先生、盆子原良友先生、松井邦友先生出席。

十一月三日

工業化学科三十五年卒

大阪弥生会館で三十三名の出席者のもと還暦同窓会と銘打って盛大に開催された。恩師安藤博先生、盆子原利男先生出席。



訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

(平成十三年一月〜十二月)

旧職員のご逝去

- 金川 保行 (機械)
 - 吉田 幸雄 (社会)
 - 佐々木 晃 (国語)
 - 土田 美子 (事務)
 - 富田ふじ子 (養護)
- 会員のご逝去
- 道免 文男 (機二十九年卒)
 - 森脇 孝夫 (建二十二年卒)
 - 賀地 茂樹 (併中二十三年卒)
 - 井迫 聡壽 (本建十七年卒)
 - 堀越 勇 (金工二十一年卒)
 - 大屋富士男 (機四十二年卒)
 - 山崎 慎身 (建十八年卒)
 - 三上 實 (木工三十一年卒)
- (事務局で把握できた方のみ)

関東支部名簿整理の作業中に判明した物故者

- 石橋 賢道 (建十七年卒)
- 清井 勝美 (建十七年卒)
- 道免 登 (建十八年卒)
- 森野 秀夫 (建十九年卒)
- 渡津 修三 (建二十年卒)
- 児玉 義則 (建二十一年卒)
- 和田 喜三 (建二十二年卒)
- 月森三佐男 (建三十五年卒)
- 林 正樹 (建三十九年卒)
- 青木 堅 (建四十年卒)
- 福屋禮二郎 (建四十一年卒)
- 瀧口 彰義 (建四十八年卒)
- 木下 公 (機二十二年卒)
- 吉村 孝次 (機二十八年卒)
- 波田野 丸 (機三十五年卒)
- 青木 幹雄 (機三十八年卒)
- 長尾 栄 (電三十六年卒)

平成13年 江工会一般会計予算書

科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	摘要
【1】収入の部				
1. 繰越金	900,026	375,408	524,618	平成12年度繰越金
2. 会費・入会金	1,332,000	1,440,000	△108,000	在校生積立金(370人分)
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	974	592	382	預金利息、等
収入合計	2,243,000	1,826,000	417,000	
【2】支出の部				
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	20,000	△10,000	県高校工業教育研究会へ
報発行費	200,000	200,000	0	江工会会報36号発行
記念品費	50,000	50,000	0	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	300,000	150,000	150,000	江工会館運営会計へ(前年度未執行分を含む)
2. 管理費				
通信費	50,000	60,000	△10,000	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	10,000	0	年賀状印刷
消耗品費	10,000	10,000	0	紙代、お茶、他
旅費	500,000	500,000	0	支部訪問、他
会議費	250,000	250,000	0	本部總會・支部總會 出席
慶弔費	50,000	50,000	0	祝電、弔電、御祝、香典等
雑費	120,000	120,000	0	広告料、謝礼、饌別、他
3. 積立金	500,000	200,000	300,000	江工会積立金(前年度未執行分を含む)
4. 予備費	193,000	206,000	△13,000	
支出合計	2,243,000	1,826,000	417,000	

お知らせおよび編集後記

多忙な中をご寄稿いただいた皆様方にも厚くお礼申し上げます。本校では、インターネットによるホームページを開設しています。学科の紹介や、部活動の結果などまた江工会コーナー、卒業生の皆様から寄せられたおたより(メール)を紹介するコーナーもあります。事務局としても、会員の皆様との連携を密にと考えています。ホームページを通してでも、ご意見・ご要望ありましたらご連絡ください。

江津工業高校

menu

- 学校紹介
- 学科紹介
- 部活紹介
- 江津工業今昔
- 江工Q&A
- 名所紹介
- おたより紹介
- TOP

江工会 NEWS



江工ホームページアドレス
<http://www.shimanet.ed.jp/goutu-ih/>

江工会会報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

新世紀にあたって

会長室 安延博
(昭和31年建卒)



新 会 長

会員の皆様、ご家族様お揃いで新春をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

私こと昨年六月十六日総会において、この歴史と伝統の有る江工会の会長を命ぜられました。非才な私には、責務の重大さを痛感致しております。

江工会発足(昭和二十六年)以来五十一年と既に半世紀を経た本会は、今田剛初代会長より高橋次郎前会長と七代に渡る中、各会長に於かれては、其の節め節めに本校の教育環境の充実育成と本会の発展の為、大いなる事業を果たされ今日に至っておりますこと、改めて敬意を表したいと思います。

さて、昨年十二月には国民の待ち望んでおられた皇太子ご夫妻に敬宮愛子内親王殿下がご誕生になられ明るいニュースの中、新年を迎えましたが、しかし、振り返り見ますと、ITバブルの崩壊、同

時多発テロ事件の影響で世界中の経済全体が低迷し、わが国に於いても其の影響を受け産業構造が大きく変貌を期したし企業の倒産縮小による深刻な雇用情勢となり、特に本校の様な産業界に直結する専門高校は、大変な痛手と成る事は必至で有ります。他方、少子化に伴い平成十一年十一月島根県教育委員会が策定した「県立学校再編成基本計画」により、ご他間に洩れず石見部の県立高校の再編成問題が議論される事も近いものと憂慮しております。

可様な時点下でこそ本校・本会の連携が重要で有ると存じます。終わりに当たり本校の外郭団体(江工後援会・野球部後援会・体育文化振興会・PTA)と連動しながら江工会の運営に努力致す所存で在ります。

どうか皆様方、各位のご健勝ご発展を祈念致しますと同時に一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



空から見た江工全景

新春に思うこと

校長 木下英樹



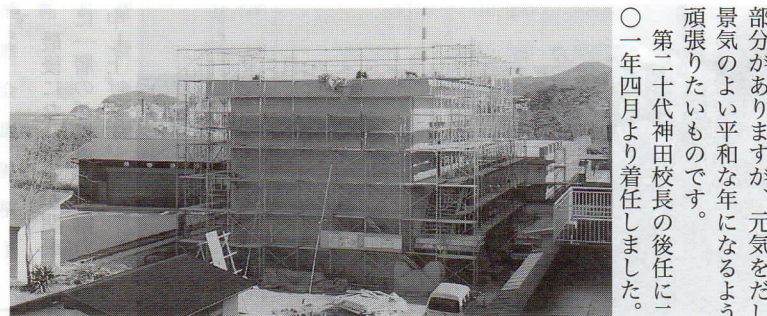
江工会会員の皆様には新春を元気に迎えにいたしましたこととお慶び申し上げます。

皆様方には、母校の教育振興と在校生のため物心両面にわたり平素より格段のご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。今年もは午年。次の漢語にあやか

りたいものです。

「春風得意馬蹄疾」……春風得意ヲ得テ馬蹄疾シと読みます。馬蹄とは馬のひづめ。疾しは走る。

(若者が春風に吹かれながらパカッパカッと馬を走らせて行くさまを表している。)すなわち、「人間は年を取ってもこのように颯爽と生活して行きたい」ということです。最近の日本経済は先行き不透明な



完成近い新実習棟

部分がありますが、元気をだして景気の良い平和な年になるように頑張りたいものです。

第二十代神田校長の後任に二〇〇一年四月より着任しました。前

力する覚悟でございます。
 着任以来すでに、江津の街の発展に寄与され、故郷の発展のため全身全霊で頑張っておられる先輩諸氏に数多く出逢ってきました。中でも「江津市役所支部総会」、「関西支部総会」に出席させて頂き、「同窓会」のすばらしさに接することができました。

同窓会

それは長い人生の旅路で「心の故郷」の集いではないでしょうか。人生はまさに「山あり谷あり」「海はべた肌もあれば波濤もある」の旅路ではないでしょうか。私達は旅人なのです。それには、順風満帆で人生がバラ色で意気揚々の時あれば、人生に暗雲が立ちこめて行く手を阻まれ試練に耐える時もあるかもしれません。どんな旅路に遭遇しようとも故郷の望郷の念は尽きません。それは江津工業高校で学び、初代鎌田校長が制作された校章を思い出し、校訓の質実剛健・不撓不屈の精神で学んだ共通の学舎にたどり着くことを意味することではないでしょうか。だからこそ同窓会は永遠に不滅です。同窓の方々の絆は固く、また暖かく二十一世紀にもさらに発展することでしょう。先輩諸氏の益々のご活躍をお祈りします。さて、本校在校生の教育の基本方針として二つの大きな柱を設けています。

- 一、社会的・地域的な評価を高める
 - ①挨拶運動・頭髪指導
 - ②コース制・選択科目を設定し専門性を高める
 - ③資格取得に力点を置き、実践的技術者をめざす
 - ④基礎・基本の充実を図る

め実力テストを実施する

- 二、学校PRに努める
 - ①産業教育交流フェアへの積極的参加
 - (相撲ロボット、競技ロボット)
 - ②競技大会で上位を果たす
 - ③学科改編の充実を図り専門性を高める
 - ④時代のニーズに対応する施設・設備の充実
 - ⑤部活動の推進

二〇〇四年全国高校総体が鳥根県を中心に開催されます。本校ボート部は皆様方の浄財で江津艇庫を建設頂き、そこを拠点に活躍し、県内強化指定校に選ばれています。本年度は「男子ダブルスカル」で吉本・濱田組が、「男子シングルスカル」で高野がいずれも優勝し、全国大会に参加しました。また、ソフトテニス部は十一年ぶりに男子団体で優勝しました。全国大会出場にあたり浄財をいただきました皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。その他野球部、バスケット部は毎日ハードな練習を重ねておりますが、いずれも惜敗しました。弓道部は県新人戦の団体で準優勝という快挙をなすとげました。自動車部はホンダエコノパワー燃費競技全国大会でベスト十六位に入賞しました。また、高知市で開催されたエコノパワールールにおいて総合順位で第十位、グループ順位で優勝しました。今後とも母校に対する一層のご支援を頂きますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、会員の皆様益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

江工会支部だより

支部活動の現状と今後の展開



関東支部長
 勝田 友治
 (昭和38年電卒)

新年あけましておめでとうございます。皆様には新年をすこやかに迎えることと拝察致します。新しい年のスタートにあたり、母校、江工会、江工会会員皆様の益々の御隆盛を心より祈念致します。昨二〇〇一年は希望に満ちた二十一世紀の幕明けでしたが、大変キビシい年でした。特に後半は世界的なIT産業不況、アメリカにおける同時テロ事件後の景気後退。また国内においては超大型企業の破産、倒産、失業率五%超等暗いニュースの多いなか十二月一日敬宮愛子内親王誕生の明るいニュースがありました。



総会後の懇親会

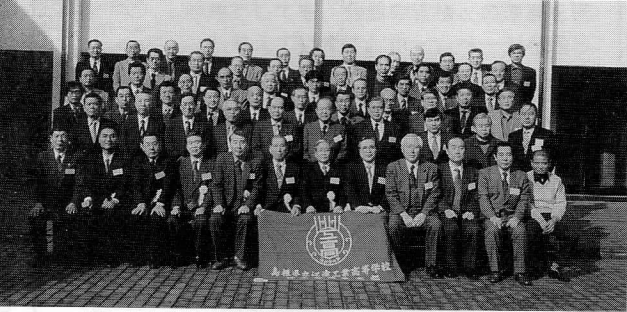
新しい二〇〇二年は行政改革の推進、ワークシェアリング、ペイオフ等相変らずキビシい年になりそうですが、各業界でご活躍の江工会会員諸兄の御尽力により景気回復が早まるよう祈念する次第です。

今年の支部活動としては支部総会を二月十七日(日) 恒例のゴルフコンペを五月二十九日(水) 十一月十七日(日) 第一回釣同好会を四月七日(日) 新会員歓迎会を五月十二日(日) に予定しています。特筆すべきは釣同好会のスタートと支部総会において母校の「石見神楽クラブ」を招聘できることです。昭和五十二年に発足し、江津市内の老人ホーム、養護施設等で数多くの慰問上演を行い、練習の成果を発表しておられます。今回は江工会本部、母校の木下校長先生、諸先生の御理解のもと初めての市外上演をさせていただきます。

関東支部は会員数約一〇〇〇名、毎年の総会出席者約七〇名、会費納入者約二〇〇名、会費未納の者約五〇〇名、住所不明者約三〇〇名です。支部活動を活性化するための懸案事項として ①総会出席者の増員 ②会費納入者の増員 ③住所不明者の調査 ④若年層の掘起しです。そのために今期の活動方針であるI組織の拡大と固定化 II活動の多様化と推進するために以下の通り重点指向しますので会員各位の積極的な参加と協力をお願い致します。

- I、組織の拡大と固定化では ①総会出席者、会費納入者の増員のために連絡委員の補強 ②住所不明者の調査のために江工会HPの利用、家族、友人への問合せ ③若年層の掘起し 昭和四十六年卒以降の会員。
- II、活動の多様化では ①現在活動中のゴルフ同好会、釣同好会、OB会(野球部、ボート部)への協力 ②同好会等の発足推進、同好会(登山、ハイキング、囲碁将棋等) OB会(陸上、水泳、テニス、バレエ、新聞、写真等)支部活動を活性化するためには会員名簿のメンテナンスと発行が必要になります。来年の支部総会で会員名簿を発行致しますので皆様からの情報提供をお願い致します。

最後になりますが関東支部活動に一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。



平成13年度 関東支部総会 (H13. 2. 10)

『石見神楽』

うらばなし



関西支部長

橋目 福司

(昭和39年建卒)

月日の経つのは早いもので二十一世紀も早一年が経ちました。江工会関西支部も四十五回目を迎えました。

このように長年活動を継続してこれたのも歴代の支部役員方々の並々ならぬご努力のお陰と、支部運営にご理解頂いています支部会員の皆様の年会費によりここまで継続できたものと感謝いたしております。

今回は二十一世紀最初の総会でもあり、アトラクションに故郷の有福温泉より『石見神楽』を招待しました。企画段階での一番の心配は予算でした。特別会費を設定することも考えましたが、支部には長年積み立てられた年会費の繰越金がありました。そこで、「生きた金を使う」と言う気持ちと、「従来通りの会費で参加して頂けるようにする」ことを役員会にて申し合わせました。

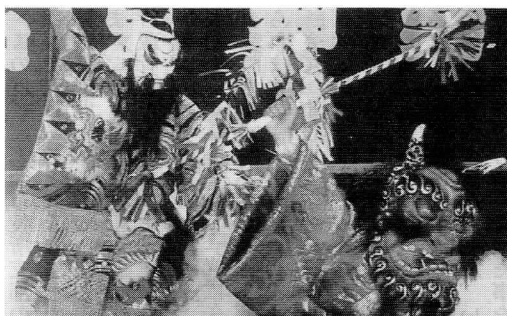
次にこの神楽団を招待するかについては、江津市役所にご無理をお願いしました。それからの段取りが大変でした。まず、会場の設定ですが、参加人数の概数把握、神楽を舞うスペースはどの程度必要か、また、従来より使用している大阪弥生会館で可能かどうかを検討しました。

参加人数の概数は役員会でも意見は分かれましたが、百二十名は

何としても確保する方向で、会員のご家族・親戚知人に参加枠を拡大して案内を発送しました。

神楽を舞うスペースについては、会場を実測して図面を作成し、神楽団にて検討していただき、何とか舞えるとの返事を頂きました。最後はやはり予算です。来年の総会案内等諸費用は確保しておく必要があります。神楽招待、懇親会費用等のシュミレーションを幾度となく行いましたが、総会当日の参加人員が予算を左右することから当日まで心配をしました。

然しながらこのような心配は総会当日の受付段階で無用な心配となりました。参加人数は百三十名となりテールが狭いぐらいに大盛況となり、皆さんと久しぶりの神楽を堪能しました。中でも大蛇はやはり圧巻でした。じつは、予算の関係で大蛇は三頭ぐらいと思っていたところ六頭も出して頂き感激しました。有福温泉神楽団の皆様本当に有り難うございました。この神楽団の中には、江工の卒業生も五名おられ、懇親会では合



鍾馗を舞う有福温泉神楽団

流して和気あいあいと母校の話に花を咲かせて頂きました。

江工を卒業してから初めて神楽を見た方もおられ、故郷をなつかしんでおられました。当初の目標の「生きた金を使う」ことについては達成できたものと思っております。「来年もやつてくれ」と言われる会員もおられました。予算面からも五年に一度ぐらいかなと思っております。



平成13年度 関西支部総会 (H13. 6. 2)

景況感も先行き不透明な中ですが、このような時こそ会員相互の情報交換を活発に行い、厳しい時代を乗り切らなければと考えます。最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。江工会関西支部の活性化のために我々一同一層努力致しますのでよろしくご指導の程お願いを致します。

四十六年ぶりの

クラス会に参加して



山口県支部

山根 清建

(昭和30年建卒)

江工会の会員の皆様にはご壮健にて新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は二十一世紀の最初の年でありましたがあまりにも暗く、きびしいニュースが多く、失業と戦争で始まった世紀の様に思います。この様な年ではありましたが、私には大変うれしく、楽しい出来事がありました。

それは建築科第五期(昭和三十年)卒業のクラス会が行われたことである。クラス会は卒業後初めてのことで四十六年ぶりの再会となりました。六月の終わりから一泊二日の日程で有馬温泉で行われました。

関西支部の有志の発起により行われ、卒業生は総勢四十八名でありましたが、故人、所在不明者、病气やその他の事情で出席できない者もあり、最終的には二十八名の出席となりました。集合は新大阪駅となりました。

四十六年間逢っていない級友たち



平成13年度 山口県支部総会 (H13. 2. 18)

です。はたして見分けがつくのだろうか、名前は大半の者の記憶は有りますがいささか心配でありました。我々の卒業した当時はお互いの顔写真を交換する習わしがあり、その写真が残っていましたのでその整理をしながら昔を思い出し、出合いを楽しみに一路大阪に向いました。

新大阪駅には関西支部のメンバー数人が出迎えてくれていました。やはり思った通り一名の見分けもつかず自分のふがいなさ、四十六年間という歳月を感じずにはいられませんでした。中には本立三君は！そう思うほど変っている者もいました。

新大阪駅に集合し待機していたバスで一路有馬温泉へ、宿泊、懇親会は「旅館やま」とで行なわれ、ひと時の休憩の後、十八時より懇親会が始まりました。四十六年間という空白はありましたが、若き時代三年間を共に学び、共に喜び、共に遊んだクラスメイトです。またたく間にあの時代にタイムスリップしたかの様に和気あいあいのうちに宴は進んで行きました。

すでに六十歳の半ばとなり、第一の人生を終え残る余生を静かに暮らしている人、第二の人生で再びがんばっている人、今も現役でがんばっている人、それぞれに事情は違いましたが、みんながんばっていました。

私達が卒業した時代は大変な就職難の時代であった様に記憶しております。就職も殆どの者が決まらなまま卒業して行った様になります。

私が山口に参りましたのは昭和三十年の暮れごろではなかったかと思いますが、特にあてがあつたわけではなく、色々な仕事を転々としながら、最終的に県庁に奉職することとなりました。その当時周囲では島根の人は実直で辛抱強いと評価をうけていました。

今回のクラス会で強く感じたことは、やはり辛抱強い島根人でありました。それは、あれだけ厳しかった就職難の時代にあつてそれぞれに良い職場を得てそして持ち前の島根人根性で勤め上げ、又今では自ら社長職として会社の経営に携わりがらばっている人もありました。

まさに島根人の底力を強く感じたいであります。

市役所支部報告

市役所支部長

堀川 哲朗

(昭和40年機卒)

江工会会員の皆様明けましておめでとうございます。新しい歳を迎え、益々御健勝の事とお喜び申し上げます。

この度、江工会市役所支部の支部長を受けることになりました機械科三十九年度卒業の堀川と申します。よろしくお願い致します。若輩者と思つておりましたがいつの間にか支部長を受ける歳になったのかと思ひますと、「光陰矢の如し」という言葉がつくづく感じられます。

さて、市役所支部の紹介を少しさせて頂きますと、現在会員四十二名で運営しておりますが、私が市役所に入った時には六十、七十名位おられ、技術畑の大半は江工の先輩というような時代で、いろいろな意味で心強く思つた事を覚えております。そのころを思いますと、少し寂しい気がします。

さて、本市の状況を少し述べさせて頂きますと、平成十三年十二月末現在、人口は二万五千七百七十二人、世帯数が一万五百八十五世帯となり、人口の減少に歯止めがかからず、少子高齢化が進み、また、近年の不況の波も容赦なく押し寄せ、本市を始め近隣市町村においても企業の倒産も相次いでおります。

そうした社会情勢のなか、本市は二つの大きな課題をかかえております。その中の一つが市町村合併問題です。この問題は平成十八年度を目途としての合併問題があります。現在合併のパターンは、一つは浜田圏域の六市町村(浜田、江津、金城、旭、弥栄、三隅)が合併し一つの市となる案。もう一つは桜江町と江津市が合併するとう二つの案が提示されています。この合併問題は避けては通れないことで、現在、研究会を立ち上げ、市民の皆さんの意向を十分に尊重しながら検討し、取り組んで

いるところでです。

もう一つは、済生会江津総合病院の移転新築です。移転場所については、母校への通学路となつていました通称「五左衛門並木」の西側にありました「ユニチカ(旧日本レヨン)」跡地に平成七年江津市総合市民センターがオープンしましたが、その更に西側一体を日本製紙(株)(旧山パル)より買取し、そこに移転新築し、この一帯を保育園、中学校、高校、市民センター、済生会江津総合病院、済生会高砂病院、特別養護老人ホーム白寿園、市営住宅等が集約された新しい江津の街づくりの中心となる予定ですが、何分多額の出費が必要で、その対応に苦慮しているところでです。

このような厳しい状況の中で、本支部の会員一同は「質実剛健」を合言葉に母校と市政の発展を祈念しながら頑張つております。最後になりましたが、江工会の会員の皆様方の益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



市役所支部総会 (H13. 4. 20)

工 友 会 だ より

総会および研修旅行について

九月二十二日・二十三日第十八回工友会の総会並びに研修をかねて今年は北九州方面への旅となりました。

江津八時出発、貸し切りバスへ乗り浜田道までに次々と会員が乗って来られました。全員十八名の参加となり、幸いよい天候に恵まれ山陽自動車道に入り一路北九州へと向かいました。

例年のように、車中で高木先生の司会により、総会が開かれ、盆子原会長の挨拶から始まり学校長の挨拶を終わり、引き続き議事に入り十二年度の事業報告並びに会計報告、監査報告がなされ、提案通り承認されました。引き続き十三年度の事業並びに予算案が提出され承認されました。

次、下関の喜多川食堂で昼食をとり、下関水族館(海響館)を見学、シロナガス鯨の骨格がメインはやはり島根のアクアスが良かったかなと自己流判断をしました。

次は、関門トンネルを通過して北九州かんぽの宿へと向かいました。夕食は懇親会となり、その後それぞれの部屋に寛いでの語りとなりました。

翌朝、江津工業卒業生、昭和三十六年機械科卒業の湊敏之さんが宿舎に來られ、工友会員へのお土産を頂戴し、会員の皆様へよろしくお伝えくださいと、言われた由高木先生より報告がありました。急に出張へ出られることになったとのこと、忙しい中を時間を割い

て来て頂いた様子です。これにも平田先生のご配慮があったことと思ひました。

宿舎を九時半に出発して、北九州博覧会見学へと向かいました。

ハイポーズ (海響館前にて)



第18回 工友会総会 (H13. 9. 22)

そこで記念写真を撮り、これが今回旅行の唯一のいい記念になりました。自由行動で見学し個々に昼食をとり、博覧会場をあとにしました。

若戸大橋を経て、めかりで休憩し、最後の買物はここで言われ、それから一路山陰路へと帰りました。

今回の北九州研修旅行の感想文は予期しなかつたことですが……。計画をたてられ、お世話を頂きました先生方に感謝致しまして報告を終わらせて頂きます。

退職後次第に年老いてくると、このように一年に一回の工友会の集いは皆様とのふれ合いを深め楽しみの一つとして、私にとっても待たれる会でありませぬ。他校にはないと思われる催しであり、次回も楽しみにしております。

(坂越龍雄記)